

失業保険行政法の 判事の前に行われる公聴会

この情報は、失業保険行政法判事のセクションで行われる予定の公聴会に関する基本的な質問に答えるために、ニューヨーク州労働局によって提供されます。

さらに詳しい情報については、『失業保険給付に関する質疑応答の公聴会』のパンフレット（様式 TC 424.2）をお読みください。あなたは、労働省から郵送されたパンフレットを受け取っているはずですが、これは、以下でも閲覧できます。 <http://www.labor.ny.gov/formsdocs/ui/formsandpublications.shtm>.

失業中のあなたの権利を守るために、引き続き給付への証明書を発行し、指示されたとおりに本人が出頭する必要があります。あなたの事件に関連するいかなる通信も、行政法の裁判官の事件番号とあなたの社会保障番号の両方を含める必要があります。

行政法の判事とは、誰ですか？

行政法の判事は、労働省から独立した判断をする偏見のない（公正な）判断者です。行政法判事は、あなたの公聴会を実施し、あなたの事件の全ての事実を慎重に検討し、あなた（請求者）が失業保険の給付を受ける権利があるかどうかについての決定を下します。

公聴会には、私は、どのように準備できますか？

あなたには、聴聞会であなたを代理する弁護士かその他の代理人を雇う権利があります。請求者を代理する弁護士は、法律で制限された手数料を請求することができます。請求者を代理する非弁護士は、その非弁護士が上訴委員会に登録された代理人である場合を除き、手数料を請求することができません。手数料は、請求者が公聴会の結果として利益を受け取り、上訴委員会が手数料を承認した場合にのみ、請求者の代理人に支払われます。あなたが弁護士を雇う余裕がない場合は、あなたの地元の法律扶助協会または法的サービスプログラムを通じて無料の代理を得ることができるかもしれません。弁護士、登録代理人、法律業務プログラム、プロボノ弁護士組織などの法的リソースのリストについては、失業保険不服審判所のウェブサイト (www.uiappeals.ny.gov) でご確認ください。「お役立ち情報 (Helpful Information)」タブを選択し、「ガイドとリソース (Guides and Resources)」を選択します。「弁護士と認可代理人のリスト」を選択してください。電話 (518) 402-0205 によって、このリストを請求することもできます。あなたには、公聴会の前に自分の事件のファイル全体を確認する権利があります。

ご質問がある場合は、失業保険行政法判事のセクション(877) 880-3322 までご連絡ください または、労働局の電話申請センター ((888) 209-8124) にお問い合わせください。

行政法の判事は、どのように公聴会を実施するのですか？

公聴会では、行政法の判事が以下のことを行います。

- 出席した当事者の全員を特定し、関係する問題の概要を簡潔に説明する。
- 当事者の全員から、宣誓または確約のもとに証言を得る。
- 必要な事実を知るために、当事者と証人に質問する。
- 当事者が証人に質問するのを支援する。
- どのような文書と証言を証拠として認めることができるかを規定する。
- 関連する記録と証言のために出頭する人に対する召喚状を発行する。
- 当事者の事件を説明する際に、当事者が事件ファイルの文書を使用することを許可する。

公聴会における私の権利とは、何ですか？

公聴会の最中には、あなたには以下のような権利があります。

- a. 自分自身のために証言する。
- b. 弁護士か他の人を代理人として連れて来る。
- c. あなた自分自身のために証人に証言してもらう。
- d. 文書、記録、その他の証拠を記録として提出する。
- e. 行政法の判事に対して、提出する予定の文書、あなたのために証言する証人を召喚するように求める。
- f. 相手方の当事者か不利な証人に質問する（または「反対尋問」する）。
- g. 質問するのに苦労している場合は、行政法の判事に手伝ってもらうように依頼する。
- h. 理解できない質問には、回答を拒否する。
- i. 自分に不利な証拠について説明するか、反論する。
- j. 正当な理由があれば、後日への延期（または「休止」）を要求する。
- k. 公聴会の最後に、失業保険の給付を受けることができる理由を説明するか、公聴会の最中に提起されなかった点か、明らかにされなかった点を説明するための声明を発表する。

公聴会の後には、何が起こりますか？

公聴会の後に、行政法の判事は、あなたに失業保険の給付を受ける権利があるかどうかを知らせる、「決定通知書」を発行します。これは、公聴会の後に、できるだけ早くあなたに郵送されます。

『決定と通知』では、行政法の判事が証拠から判明した事実、その理由、そして決定そのものを記載することになります。

『決定と通知』に記載された情報では、あなたが行政法の判事の決定に同意できない場合に、上訴委員会に上訴を提出する方法についても説明されます。

あなたは、行政法の判事の決定を理解できなければ、労働省の電話請求センターに電話をして説明を求めることができます。

行政法の判事または上訴委員会が給付金の過払いであると判断すれば、あなたは給付金を返済しなければならないことがあります。